令和６年度
箱根町社会福祉協議会事業報告書

①.　法人運営事業　‥P1
②.　調査研究事業　‥P4
③.　企画広報事業　‥P5
④.　部会委員会事業　‥P6
⑤.　福祉総合相談事業　‥P6
⑥.　ボランティアセンター活動事業　‥P8
⑦.　地域福祉推進事業　‥P11
⑧.　共同募金配分金事業　‥P16
⑨.　日常生活自立支援事業　‥P20
⑩.　資金貸付事業　‥P20
⑪.　地域活動支援センター事業　‥P22
⑫.　生活支援コーディネーター事業　‥P25
⑬.　基金運営事業　‥P27
⑭.　居宅介護支援事業　‥P27
⑮.　訪問介護事業　‥P28
⑯.　障害者居宅介護事業　‥P29
⑰.　通所介護事業　‥P29
⑱.　地域包括支援センター事業　‥P32

※　神奈川県共同募金箱根町支会　‥P40

社会福祉法人**箱根町社会福祉協議会**

１．法人運営事業

理事会、評議員会、監事会、評議員選任・解任委員会の運営について、役員を中心に適正な法人運営を行いました。

会員募集では本会事業の周知を行い、町内各世帯、企業・事業所等の皆さまの会員募集に努めました。自治会を通じた個人会員については、住民の皆さまのご理解・ご協力により、安定した会員・会費の確保につながっています。

サービス向上の取り組みでは、福祉サービス向上委員会を開催したほか、災害時の安定した事業の継続に向け、事業継続計画の整備及び、計画に基づく研修、訓練を実施しました。

⑴　理事会

①　第１回

日　時　令和６年５月17日（金）　午後２：00～３：00

場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室

出席者　理事９名、監事２名、事務局５名

②　第２回

日　時　令和６年８月29日（木）　午後２：00～２：25

場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室

出席者　理事８名、監事１名、事務局５名

③　第３回

日　時　令和７年３月10日（月）　午後２：05～３：15

場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室

出席者　理事 10 名（うち TV 会議参加１名）、監事２名、事務局３名

⑵　評議員会

①　第１回

日　時　令和６年６月６日（木）　午後２：00～２：45

場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室

出席者　評議員１５名（うち TV 会議参加１名）、監事１名、理事１名、事務局５名

②　第２回

日　時　令和６年９月18日（水）　午後２：00～２：20

場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室

出席者　評議員 16 名（うち TV 会議参加３名）、監事１名、理事１名、事務局５名

③　第３回

日　時　令和７年3月19日（水）　午後２：10～2：55

場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室

出席者　評議員10名（うちTV会議参加１名）、監事２名、理事１名、事務局５名

⑶　監事会

○　第１回

日　時　令和６年5月８日（金）　午後２：00～2：40

場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室

出席者　監事２名、事務局２名

⑷　評議員選任・解任委員会

①　第１回

日　時　令和６年５月28日（火）　午後２：00～2：30

場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室

出席者　委員２名、事務局１名

②　第２回

日　時　令和６年９月18日（水）　午前10：00～10：30

場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室

出席者　委員２名、事務局１名

⑸　会員募集

日　時　随 時

対　象　住民一般、法人（個人・世帯、団体・企業）等

○　一般会費

個　人	3,721口	1,116,700円	（対前年度比　△1,000円）
団　体	31口	155,000円	（対前年度比　＋30,000円）

○　賛助会費

個　人	53口	53,000円	（対前年度比　△11,000円）
団　体	72口	720,000円	（対前年度比　＋20,110円）

【合　計】	3,877口	2,044,700円	（対前年度比　＋38,110円）
（前年度）	3,887口	2,006,590円	

令和６年度は、法人を中心に一般会費・賛助会費共に大増加し、過去 10 年で会費収入が最も多くなりました。住民の皆さまのご理解や、町内企業との連携した福祉活動を通じて、現在の安定的な会員の確保につながっています。今後も、会員の皆さまとの関係・連携強化を図っていきます。

⑹　連絡・調整

行政、福祉関係団体・機関等との連絡調整、情報交換等を必要に応じて実施しました。箱根町福祉課との定期的な連絡調整会議を開催したほか、神奈川県社会福祉協議会、並びにほっとステーション小田原、神奈川県等関係団体との事業の効果的な実施のための連絡・調整を行いました。

⑺　サービス向上に関する取組

○　福祉サービス向上委員会（旧　苦情解決第三者委員会）

日　時　令和７年１月29日（水）　午後２：00～３：00
場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室
出席者　委員３名、事務局５名
内　容　福祉サービス向上委員会について
苦情及び解決結果について（苦情対応１件）
情報交換について

○　感染症対策委員会

①はこね社協サービスセンター

日　時　令和６年 11 月 11 日（月）　午後４：30～５：15
令和７年３月６日（木）　午後４：30～５：15
場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室
出席者　職員　４名

②箱根町地域包括支援センター

日　時　令和６年９月４日（水）　午後４：30～５：15
令和７年３月 26 日（水）　午後４：30～５：15
場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室
出席者　職員　５名

○　高齢者虐待防止委員会

①はこね社協サービスセンター

日　時　令和６年 12 月 11 日（水）　午後４：30～５：15
場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室

出席者　職員　４名

②箱根町地域包括支援センター
日　時　令和６年７月17日（水）　午後４：30～5：15
令和７年３月２６日（水）　午後４：30～5：15
場　所　箱根町社会福祉協議会
出席者　職員　５名

○　身体拘束適正化委員会
①はこね社協サービスセンター
日　時　令和７年３月18日（火）　午後４：30～5：15
場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室
出席者　職員　４名

○　災害時事業継続計画研修及び訓練　※社会福祉協議会全体実施
日　時　令和７年１月25日（月）　午後５：00～6：30
場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室
出席者　職員　13名

2. 調査研究事業

⑴　新規事業の調査、研究

住民の方々の意見を参考に、行政及び近隣社会福祉協議会との情報交換を密に行い、住民ニーズに即した新たな事業の創設に向けて調査・研究を行うため、地域の相談ステーション「もっともっと」による地区別の地域アセスメント・ニーズ調査等を行いました。

⑵　職員勉強会「きらり会」の開催

地域福祉に関する事業や、地域の相談ステーション「もっともっと」の調査を基に、住民のニーズや町内の調査結果から、本会職員全体で新たな事業の検討を行うため、職員勉強会「きらり会」を月１回開催しました。

令和６年度は、４グループに分かれ、今後の地域福祉推進活動の展開のための研究を実施し、研究結果について所内発表会を実施しました。

○　職員勉強会「きらり会」
日　時　月１回（不定期）　午後５：00～6：30
場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室
出席者　本会職員

内　容　地区担当間の情報共有、社協職員の能力向上・育成のための勉強会

○　グループ別研究発表
日　時　令和７年３月５日（水）　午後５：00～6：30
場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室
出席者　本会職員
内　容　グループ①「箱根町社協における人材育成と職員研修の必要性について」
グループ②「箱根町に必要なコミュニティの在り方」
グループ③「地域アセスメントを通じた地域住民の健康と通院状況に関する現状と課題」
グループ④「孤独を防ぎみんなが集える場の提供」

３．企画・広報事業

⑴　機関紙発行事業

福祉情報の発信と福祉意識の啓発を図るため、広報紙「社協はこね」を年３回発行しました。

○　第１回発行　令和６年　6月1日（土）
○　第２回発行　令和６年 10 月1日（火）
○　第３回発行　令和７年　2月1日（土）

⑵　ホームページ運営事業

ホームページを活用し事業の情報や福祉に関する情報、災害時の義援金等に関する情報の周知を行いました。

ホームページのブログやＳＮＳを活用し、住民のニーズに合わせた情報発信を行いました。だれもが情報を得やすい発信方法として、LINE やホームページのブログ機能の活用、高齢者向けの冊子の発行等、様々な方法による情報発信を行いました。

令和６年度は、ラリグラスの会公式 LINE を中心に、情報発信を強化しました。

⑶　社会福祉大会事業

社会福祉にご尽力された方々の功績を讃え、併せて福祉の啓発・普及を図るために、社会福祉功労者顕彰式典を開催し、表彰状、感謝状及び記念品を贈呈しました。

午前の部では、「社協ってどんな事業があるの？」と題し、掲示物を用いて社会福祉協議会の事業紹介ブースを設置しました。

日　時　令和６年９月26日（木）
　　午前10：00～午後２：00
場　所　箱根町総合保健福祉センターさくら館
顕彰者　６名（表彰者13名）
出席者　約70名

４．部会・委員会事業

町民の善意の啓発とボランティア活動の振興を図ることを目的として設置しているボランティアセンターの適正な運営を図るため、ボランティアセンター運営委員会を開催しました。委員会では、寄付金配分についての意見聴取等を行い審議しました。

⑴　ボランティアセンター運営委員会

①　第１回ボランティアセンター運営委員会
日　時　令和６年４月19日（金）　午前10：00～11：00
場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室
内　容　令和５年度事業報告　令和５年度受託金品配分報告
　　令和６年度事業計画

②　第２回ボランティアセンター運営委員会
日　時　令和６年10月25日（金）　午前10：00～11：10
場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室
内　容　令和６年度経過報告　令和６年度受託金品配分の審議
　　令和７年度活動事業計画（案）

５．福祉総合相談事業

福祉の総合的な相談窓口として、幅広い内容の相談を一括して対応するため福祉総合相談事業を展開しました。相談内容に応じた支援機関への繋ぎ支援を中心に必要な支援を行いました。

生活困窮分野では、物価高騰や感染症流行後の生活の再建に関する相談が継続しており、関係機関と連携し、生活再建に向けた支援を行いました。

⑴　福祉総合相談事業

日　時　随時

場　所　事務局窓口　他

対　象　住民一般

内　容　社会福祉士等の専門家を相談員とする福祉に関わる総合相談

内　訳　1）ボランティア相談　　１０件（前年度比　　＋５件）

2）資金貸付相談　　４７７件（前年度比 ＋１７９件）

3）権利擁護に関する相談　４０９件（前年度比　＋５７件）

4）その他福祉に関する相談　６１件（前年度比　＋３８件）

計 ９５７件（前年度比 ＋２７９件）

⑵　地域の相談ステーション「もっともっと」地区別活動内容

①　湯本地区

担　　当　３名（社会福祉協議会　山崎・杉山　・　地域包括支援Ｃ　井上）

主な取組　湯本地区社協理事会出席、つながり食堂（毎月第１木曜日）連携、地域医療機関との情報交換、心配ごと相談出席

相談件数　延べ　12 件

②　温泉地区

担　　当　２名（社会福祉協議会　樋口　・　地域包括支援Ｃ　相川）

主な取組　個別相談受付、心配ごと相談出席、地域の見守りを兼ねたフードバンク活動参加（大平台あじさいの会協働）、地域のことを話し合う会参加、小涌谷地域リゾートマンションでのサロン開催及び管理組合との連携や相談対応、各種相談会（ふらっと相談会）への参加、地域の民生委員の個別訪問活動に同行

相談件数　延べ　９件

③　宮城野地区

担　　当　２名（社会福祉協議会　山本　・　地域包括支援Ｃ　竹森）

主な取組　個別相談受付、地域のことを話し合う会出席、心配ごと相談出席、自治会出席、サロン・フードバンク等地域行事参加、買い物移動支援提案、教育相談支援センターと連携した相談対応

相談件数　延べ　10 件

④　仙石原地区

担　　当　２名（社会福祉協議会　栢沼　・　地域包括支援Ｃ　浅原）

主な取組　個別相談受付、心配ごと相談出席、地域のことを話し合う会出席
コミュニティバスにこにこ号運行支援、仙石原文化センター祭・星槎大学フェスティバル等地域行事への参加
相談件数　延べ　37 件

⑤　箱根地区
担　　当　２名（社会福祉協議会　北村　・　地域包括支援Ｃ　平嶋）
主な取組　個別相談受付、心配ごと相談出席、ふらっと相談会出席、友愛チーム安否確認同行、地域のことを話し合う会出席、サロン（芦ノ湖サロン、箱根マルシェ等）、友愛チームラジオ体操等地域行事参加
相談件数　延べ　50 件

６．ボランティアセンター活動事業

ボランティアの発掘及び育成、活動の振興を図るため、各種ボランティア相談や活動の調整の他、活動を展開しているボランティアグループへの助成を行いました。

箱根町ボランティア連絡協議会の事務局を担い、ボランティアセンター機能の充実とボランティア活動の振興を図りました。

(1)　ボランティア育成講座『心を育むふくし講座』

ボランティアに興味があるけど何から始めればいいか分からない方、福祉ボランティアに興味がある方に向けて、「いちから」学ぶ講座を開催しました。

○　ボランティアいちから講座

【ボランティアについて・発達障害について】
日　時　令和６年５月 15 日（水）
午後６：00～7：30
場　所　小田原市民交流センターUMECO
内　容　「発達障害について」かながわＡによる講演
講　師　神奈川県発達障害支援センターかながわＡ
参加者　11 名

【認知症について・座談会（振り返り）】
日　時　令和６年５月 22 日（水）
午後６：00～7：30
場　所　小田原市民交流センターUMECO
内　容　「認知症について」かながわＡによる講演

講　師　認知症リハビリテーションばーそんらいふ久野　森田氏
参加者　８名

⑵　雪かきボランティア

高齢や障がいのため、自宅の生活に必要な部分の除雪ができない方に対して、「雪かきボランティア」を行いました。

若年層のボランティア募集のため、町内及び小田原市内の中・高・大学の生徒へ周知を行いました。

○　雪かきボランティア

期　　間　令和７年１月６日（月）～ ３月31 日（月）
対象地域　箱根町内
相談件数　３件
実働件数　２件
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ登録者　20 名（うち町内６名　町外 14 名）

⑶　災害ボランティアセンター事業

平常時より災害に備えるため、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。
※　箱根町総合防災訓練は雨天のため中止

○　災害ボランティアセンター設置運営訓練

日　時　令和６年 10 月４日（金）
　　午後１：15～2：30
場　所　箱根町社会福祉協議会　ピロティー
対象者　箱根町ボランティア連絡協議会 12 名
　　本会役職員５名　　計 17 名

⑷　出前体験教室・福祉教育

○　社会福祉協議会の業務、車いすで巡る箱根観光マップについて

日　時　令和６年 10 月 31 日（木）
　　午後１：50～3：25（5・6 時間目）
場　所　仙石原小学校　体育館
講　師　社会福祉協議会　事業係２名、
　　車いすユーザー　武藤　晴美氏
対象者　仙石原小学校　５年生（12 名）

○　点字学習

日　時　令和６年 11 月 11 日（月）
　　午前 10：25～11：55（3・4 時間目）
場　所　仙石原小学校　５年生教室
講　師　点字サークルはこね　３名
対象者　仙石原小学校　５年生（13 名）

○　手話学習

日　時　令和６年 11 月 13 日（水）
　　午前９：35～11：25（2・3 時間目）
場　所　箱根の森小学校　４・５年生教室
講　師　手話サークルドリーム　３名
対象者　箱根の森小学校　４年生（23 名）
　　５年生（９名）

○　車いすバスケットボール体験

日　時　令和６年 11 月 14 日（木）
　　午前 10：40～12：15（3・4 時間目）
場　所　仙石原小学校　体育館
講　師　湘南スポーツクラブ　３名
対象者　仙石原小学校　全校生徒（80 名）

⑸　ボランティアグループ活動助成事業

本会登録のボランティアグループ６団体、及び箱根町ボランティア連絡協議会へ活動費の助成を行いました。

○　活動費助成

ボランティアグループ（6 団体）	264,000 円
箱根町ボランティア連絡協議会	110,000 円
合　計	374,000 円

⑹　ボランティアセンター寄付金等配分事業

ボランティアセンターに寄せられた寄託金等を、ボランティアセンター運営委員会の配分決定に基づき、社会福祉基金積立金として配分を行いました。

① 社会福祉基金寄付金

寄付金	269,530 円
愛の小箱	433,329 円
合　計	702,859 円

② ボランティアセンター寄託物品（16 件）

タオル類、衣類、マスク、衛生用品、介護用品、食品等

※　寄付金はボランティアセンター活動事業をはじめとした地域福祉事業への活用のため基金へ積立てるほか、使途の希望のある寄付金については対象事業の事業費に活用しています。物品は本会及び、町内福祉施設、幼・保育園、学校等へ配付をおこなったほか、町内の必要とされている方へ配付を行いました。

⑺　ボランティアの発掘と登録の促進・ボランティア活動援護

ボランティア活動の普及啓発活動を継続し、令和６年度末の登録者数は以下のとおりとなっています。

○　ボランティア登録者数　　56 名
○　ボランティアグループ数　９団体

ボランティア活動中の個人の事故に備えた「ボランティア活動保険」とボランティア行事全体の参加者の事故に備える「ボランティア行事用保険」の加入事務手続き、及び広報周知を行いました。

７．地域福祉推進事業

新たなサロン設置に向けたアプローチと既存のサロン活動の充実に向けた支援を行いました。各地区社会福祉協議会への助成や事務手続き等、活動の支援を行いました。

⑴　サロン活動促進事業

すでに発足し活動しているサロンの運営に関し、助言、保険加入等の支援を行ったほか、活動費補助を行いました。また、新たにサロン活動を展開する地域の活動に参加し、立ち上げ等の活動に対する支援を行ないました。

① 湯本やまゆり会

開　　催　毎月 10 日前後
場　　所　仲町集会所
参 加 者　約 17 名
参 加 費　１回 100 円
社協支援　活動助言、用具の貸出
助 成 金　48,000 円
主な活動　ゲーム、食事会、映画鑑賞、体操、
脳トレ、町内外施設の見学等

② 宮城野やまゆり会

開　　催　毎月第３火曜日　第４日曜日
場　　所　箱根町総合保健福祉センターさくら館会議室
参 加 者　約 10 名
参 加 費　１回 100 円
社協支援　活動助言、用具の貸出
助 成 金　48,000 円
主な活動　手芸、軽スポーツ、歌、グランドゴルフ

③ 畑宿おしゃべり会

開　　催　毎月第２水曜日
場　　所　守源寺
参 加 者　約７名
参 加 費　１回 100 円から昼食代程度
社協支援　活動助言、用具の貸出
主な活動　お茶飲み、お話

④ 芦ノ湖サロン

開　　催　毎月第３水曜日
場　　所　元箱根集会所
参 加 者　約 20 名
参 加 費　１回 100 円
社協支援　活動助言、用具の貸出、チラシ作成
助 成 金　48,000 円
主な活動　食事、調理、軽スポーツ、脳トレ、体操、歌等

⑤　大平台リンリン

開　　催　不定期（第５月曜日）

場　　所　大平台集会所

参 加 者　約 15 名

参 加 費　１回 300 円程度

社協支援　活動助言、用具貸出

主な活動　食事、調理、軽スポーツ、脳トレ等

⑥　チーム糸へん

開　　催　毎週水曜日

場　　所　宮城野公民館

参 加 者　約８名

参 加 費　無料

社協支援　活動周知

主な活動　手芸、お話、食事会

⑦　きんとき寄せ木サロン

開　　催　毎月第４火曜日

場　　所　仙石原いこいの家

参 加 者　約 20 名

参 加 費　１回 200 円

社協支援　活動助言、用具貸出、チラシ作成

主な活動　体操、軽スポーツ、脳トレ、お話等

⑧　わくわく談話室

開　　催　毎月第３火曜日

場　　所　山崎集会所

参 加 者　約 12 名

参 加 費　１回 100 円

社協支援　活動助言、用具貸出、チラシ作成

助 成 金　24,000 円

主な活動　体操、軽スポーツ、脳トレ、お話等

⑨　仲町麻雀会

開　　催　毎週木曜日

場　　所　仲町集会所

参 加 者　約５名

参 加 費　無料
社協支援　活動助言
主な活動　麻雀、食事会

⑩　群舞「箱根ソーラン座」サロン
開　　催　毎月１回（曜日不定期）
場　　所　山崎集会所など
参 加 者　約 12 名
参 加 費　１回１00 円
社協支援　活動助言、用具貸出
助 成 金　48,000 円
主な活動　軽体操、踊り、お話等

⑪　salon de きんじょ
開　　催　毎月第３水曜日
場　　所　須雲川集会所
参 加 者　約 10 名
参 加 費　１回１00 円
社協支援　活動助言、用具貸出、チラシ作成
助 成 金　48,000 円
主な活動　軽体操、手芸、お花、お話等

⑵　地区社協活動補助事業
各地区社協へ活動助成金の申請を支援したほか、地区社協行事へ出席しました。

○　仙石原地区社会福祉協議会　活動助成金　　120,000 円
○　大平台地区社会福祉協議会　活動助成金　　100,000 円
※　湯本地区社協は、令和６年度の助成金申請はありませんでした。

⑶ 地域福祉活動促進
○　コミュニティバス「にこにこ号」
生活支援コーディネーター事業により開催している「地域のことを話し合う会」から発足したコミュニティバスの運行事業です。仙石原地区内の住民ボランティアや関係団体の協力により、地区内の高齢者等、移動に困難を抱えている人が利用できるコミュニティバスの運行を継続しています。

日　時　毎月第４木曜日　午前 10：00～午後２：00

場　所　仙石原地区内
内　容　住民ボランティア（運転・添乗）によるコミュニティバスの運行
利用者　917 名（令和６年４月～令和７年３月末までの延べ人数）

○　ラリグラスの会

町内に居住している外国籍の方々の、交流の居場所つくりとして、「ラリグラスの会」の活動の支援を行いました。

交流やネットワーク作りでは、外国籍住民、自治会や民生委員、関係機関のつながり作りのため交流会を開催しました。SNS を活用した情報発信では、公式 LINE を立ち上げ、登録者へ情報の発信を行い、会の活動、災害情報、交流会や講習会などの企画情報、町内のイベント情報、相談窓口について等、29 件の発信をしています。公式 LINE の登録者は現在１５０名の登録となっています。（令和７年３月 31 日時点）

その他、外国籍住民の支援について、神奈川県社協やメディアなどから依頼があり事例発表や取材対応等を行いました。

【定例会】
日　時　令和６年４月 24 日（水）　午後１：30～２：30
場　所　箱根町社会福祉協議会
内　容　運営に関する各種打ち合わせ

【交流会（コミュニケーションパーティー）】
日　時　令和６年７月 24 日（水）　午後３：10～４：30　（宮城野地区）
　　令和７年３月 11 日（火）　正午～午後４：30　（湯本地区）
場　所　箱根町総合保健福祉センターさくら館、山崎集会所
内　容　交流会、各種相談会、公式 LINE の紹介、情報提供
参加者　外国籍住民、自治会、民生委員、箱根 DMO、かながわ国際交流財団、箱根町赤十字奉仕団、幼児学園職員、東洋大学、相模女子大学、子育て関係機関、神奈川県職員、箱根町職員、神奈川県社会福祉協議会、自立相談支援機関　延べ 79 名

【講習会・研修会等】
日　時　令和６年６月 26 日（水）　午前９：30～午後５：00
　　令和６年７月 24 日（水）　午後１：30～３：00
　　令和７年２月４日（火）　午後２：00～４：00
場　所　箱根町総合保健福祉センターさくら館、小田原合同庁舎
内　容　救命救急講習、研修会「みんなのバリアフリーのまちづくり研修会」

【事例発表等】

日　時　令和６年９月26日（木）　午後６：45～7：00
場　所　ライオンズクラブ定例会
内　容　ラリグラスの会について

日　時　令和６年11月12日（火）　午後２：00～4：45
場　所　令和６年度社協基礎研修
内　容　ラリグラスの会実践報告

日　時　令和７年２月27日（木）　午前11：15～11：35
場　所　令和６年度市町村社協部会モデル助成報告会
内　容　ラリグラスの会に実践報告

８．共同募金配分金事業

神奈川県共同募金会箱根町支会として一般（赤い羽根）募金及び年末たすけあい募金を実施するとともに、共同募金配分金を主たる財源とする各種の福祉事業を展開しました。

(1) 児童福祉事業

① はこね社協のはらぺこ子ども食堂

夏休み期間中の子どもたちの見守りを目的として、町内飲食店と連携し、各地域で子ども食堂を実施をしました。町内 3 地区の飲食店に協力を依頼し、食を通じて地域で子どもを見守り、子どもたちのつながり・居場所つくりを行いました。

また、令和 6 年度は新規事業として、箱根町の教育支援室にじいろと連携し、にじいろに通学する

児童・生徒を対象とした体験型子ども食堂を実施し
ました。

【はらぺこ子ども食堂】
日　時　令和６年８月５日（月）　午前 11：00～午後１：00　湯本地域
８月６日（火）　午前 11：00～午後１：00　宮城野地域
９月 16 日（月）　午前 11：00～午後１：00　温泉地域

参加者　町内在住の児童・生徒　延べ 25 名
内　容　子ども食堂の実施
協　力　coco-Hakone 様、ぱんのみみ様、
cafe＆BAR よう様、

【はらぺこ子ども食堂（教育支援室対象）】
日　時　令和７年２月 10 日（月）
午前 10：00～12：45
参加者　教育支援室にじいろ児童・生徒　５名
内　容　体験型子ども食堂
協　力　BOXBURGER 宮城野本店様

② 企業と連携したはらぺこ食堂の臨時実施
株式会社王将フードサービス、及び報徳食品センターと連携し、お子様弁当やクリスマスケーキの無料配布を本会職員により実施し、子育て世帯の支援・子どもの見守り活動を実施しました。

【株式会社王将フードサービスと連携した食料配布】
日　時　令和６年8月 29 日（木）　午後４：00～
内　容　餃子の王将お子様弁当の配布・見守り
対　象　町内在住の子育て世帯　27 世帯 39 名

【報徳食品支援センターと連携した食料配布】
日　時　令和６年 12 月 24 日（火）　午後３：30～
内　容　クリスマスケーキの配布・見守り
対　象　町内在住の子育て世帯　27 世帯 39 名

⑵　高齢者福祉事業

○　敬老祝品贈呈

祝い品　99 歳の方：寄木細工「ミニティッシュケース」
　　100 歳及び２回目以降の方：寄木細工「写真立て」

対　象	99 歳	12 名
	100 歳以上	10 名
	計	22 名

⑶　障害者福祉事業

○　みんなで楽しむ！クリスマスコンサート

障がい児・者支援事業として、「みんなで楽しむ！クリスマスコンサート」を実施しました。

（福）宝安寺社会事業部ほうあん第一しおん、小田原短期大学、株式会社 AsMama、地域活動支援センターレインボーとの共催により、障がいの有無にかかわらず「誰もが参加し楽しむことができるコンサート」をテーマに開催しました。

会場では、仙石原地域自治会連合会・仙石原地区社会福祉協議会によるクリスマスツリーの飾りつけ、株式会社 AsMama によるクリスマス縁日が同時開催されました。

日　時　令和６年 12 月 20 日（火）
　　午後１：30～4：30
場　所　仙石原文化センター　ホール
対　象　町内在住者　56 名
内　容　障がい当事者の方、ボランティア学生等　によるクリスマスコンサート
　　その他会場でのクリスマスイベント
協　力　（福）宝安寺社会事業部ほうあん第一しおん、小田原短期大学、株式会社 AsMama、
　　箱根町地域活動支援センターレインボー

○　ミニコンサート

手をつなぐ育成会主催により、「ともしび運動」の啓発と、「障害者週間」のＰＲを目的に、知的障がい者への理解を深める企画として、ミニコンサートの開催に協力しました。

日　時　令和６年 12 月 10 日（火）　午後 12：10～12：50
演奏者　須藤英二氏
場　所　箱根町役場本庁舎住民ホール
対　象　町内在住・在勤の方

⑷　援護事業

○　はこね社協のはっぴぃとらんぽ

準要保護児童・生徒のいる世帯のうち、支援の必要な世帯に対し、本会職員が子どもの見守りを兼ねた食料支援を行いました。

内　容　町内の準要保護児童・生徒のいる世帯への定期的な食料の配付（配達）・子どもや世帯の見守り
回　数　毎月１回開催（月１回最終金曜日に配達）
件　数　申し込み世帯　27 世帯 39 名（令和７年３月 31 日時点）

○　災害見舞金支給

町内で発生した災害により罹災した世帯へ災害見舞金を支給しました。

件　数　６世帯
内　容　火災や床上浸水による罹災への災害見舞金支給６件
支給額　40,000 円支給　　１世帯
　　20,000 円支給　　３世帯
　　10,000 円支給　　２世帯　　計 120,000 円

⑸　年末たすけあい配分金事業

○　年末慰問金配分事業

年末たすけあい運動で寄せられた募金を、令和６年 12 月に町内の準要保護児童・生徒のいる世帯に年末慰問金として配分しました。配分を通じて子どもたちの見守りや、生活に関する相談等の受付、児童福祉に関する事業への繋ぎなど、生活全般に関する継続的な支援を行っています。

件　数　36 世帯 46 名
配分額　一人につき 5,000 円　　計 230,000 円

９．日常生活自立支援事業

意志決定能力の低下した方や自立生活を送る上で支援を要する方等に対し、日常生活自立支援事業のサービス提供を行いました。

⑴　事業利用者数（令和７年３月31日現在）

利用者数		１名（前年度比　±0）
令和６年度新規契約件数		２件（前年度比　±0）
	終了件数	４件（前年度比　＋2）
従事者	専門員	２名（前年度比　±0）
	生活支援員	１名（前年度比　±0）
専門員等訪問調査活動		84回（前年度比　△63）
専門員.生活支援員訪問回数		325回（前年度比＋120）

⑵　サービス提供内容

①　福祉サービスの利用援助

要支援者（軽度認知症高齢者、知的障がいのある方、精神障がいのある方、身体障がいのある方等で判断能力が不十分な方）に対し、福祉サービスの利用に関する情報の提供・相談、契約の手続き、郵便物の確認等の支援をしました。

②　日常的金銭管理サービス

福祉サービスや医療費、税金、保険料、公共料金の支払い手続き、年金等の受領に必要な手続きを支援しました。

③　書類預かりサービス

各種証書、通帳、印章などの書類等を金融機関の貸金庫にてお預かりしました。
預かり物の確認のため、年１回の点検を行っています。

④　契約締結相談

１名の外部相談員及び神奈川県社会福祉協議会が実施する契約締結審査会により、支援の実施状況の報告や、新規相談の際の契約締結判断に関する相談をおこないました。

１０．資金貸付事業

神奈川県社会福祉協議会の委託事業である生活福祉資金貸付事業と、本会独自の事業であるたすけあい資金貸付事業を実施しました。

生活福祉資金貸付事業では、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う臨時の特例貸付事業（緊急小口資金・総合支援資金・総合支援資金延長）の償還に関する免除や猶予、その後の生活に関

する相談を受け付けました。

相談内容や状況に応じて柔軟な対応を行い、生活困窮者自立支援制度に基づく相談機関等と連携し、相談者を中心とした支援を行いました。

また、生活困窮に関する食料支援を実施するため、“ゴンとお母さんからのおすそわけ”（食料支援事業）、“フードドライブ事業”（食料の寄付受付事業）を継続して実施しました。

⑴　生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

期　　間　随時
対　　象　町内在住者
貸付件数　１件
貸付決定額　1,368,000 円
内　　訳　教育支援資金　１件（1,368,000 円）
相談件数　延べ　280 件

⑵　緊急小口資金等の特例貸付における借受人へのフォローアップ支援

期　　間　随時
対　　象　新型コロナウイルス感染症特例貸付利用者等
相談件数　延べ　197 件

新型コロナウイルス感染症に関する特例貸付の借受人への生活の再建へ向けたフォローアップ支援として、償還猶予や免除に関する相談、生活の再建に向けた支援を行いました。

複合的な課題を抱える世帯が多く、生活困窮に関わる関係機関（自立相談支援機関「ほっとステーション小田原」、小田原保健福祉事務所等）と連携し、身近な相談窓口として伴走型支援を継続しました。

⑶　たすけあい資金貸付事業

期　　間　随時
対　　象　町内在住６ヶ月以上で他に援助が受けられず、民生委員が認めた世帯
貸付件数　０件（前年度比　－０）
貸付金額　０円
償還指導　個別対応

箱根町社会福祉協議会の独自の貸付制度（貸付上限額 60,000 円）として、他制度の要件に当てはまらない世帯に対し、一時的な貸付を行うことで、生活の自立を支援する事業です。

⑷　ゴンとお母さんからのおすそわけ　（臨時食料支援事業）

期　　間　随時

対　　象　生活困窮世帯への緊急一時的な食料支援等

支援件数　32 件（前年度比　△24 件）

協力団体　NPO 法人報徳食品支援センター様、セブンイレブンジャパン様、神奈川県共同募金会様

収入の減少や物価高騰、家計管理に関する問題等により緊急一時的に生活困窮の支援を必要とする世帯からの相談は継続しています。今後も協力団体と連携し、緊急時の支援として食料支援事業を継続します。

⑸　フードドライブ事業

期　　間　随時

寄付件数　１件

食料品の寄付を募り、必要としている世帯や団体に配布しました。寄付された食料は「ゴンとお母さんからのおすそわけ」事業に活用しています。

１１．地域活動支援センター事業

箱根町からの受託事業として、箱根町地域活動支援センター『レインボー』を運営しました。（施設長１名、支援員２名　活動時間　月～金　午前９：00～午後５：00）

⑴　利用者数（令和７年３月 31 日現在）

利用者は、知的障がい者３名、精神障がい者２名の計５名となっています。年間新規相談件数は１件となっています。

【月別延べ利用者推移】　（単位：人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
合計数	64	59	58	69	57	63	52	32	26	26	37	28	571
前年度比	+13	+20	+4	+21	+9	+19	+3	-32	-32	-22	0	-23	-20

外出や行楽、美化清掃活動を通じた地域との交流機会の確保など、利用者の思いを重視した活動を行い、支援内容の充実化を図りました。施設での作業も多種多様な活動を取り入れることでご利用者の生活の自立に向けた支援を行っています。

⑵　活動内容

内　容　刺し子雑巾・ちぎり絵・紙すきはがきの作成
その他作品販売（アイロンビーズ、寄せ木風
クリップ等）、古紙リサイクル等

場　所　地域活動支援センターレインボー
箱根町役場　他

収　益　作業収入合計額　122,054 円

⑶　行事・イベント参加

①　さくら館健康フェスタ

日　時　令和６年９月 26 日（木）
午前９：30～12：30
場　所　箱根町総合保健福祉センターさくら館
参加者　利用者４名、本会職員
内　容　小物販売・健康福祉に関するイベント体験

②　第 63 回箱根町民文化祭

日　時　令和６年 11 月８日（金）～10 日（日）
場　所　箱根町社会教育センター
参加者　利用者５名、本会職員
内　容　販売作品の展示

③　避難訓練

日　時　令和７年１月 27 日（月）　午後２：00～2：30
場　所　箱根町総合保健福祉センターさくら館
参加者　利用者１名、本会職員
内　容　火災を想定した避難訓練

④　秋祭り行事

日　時　令和６年９月 20 日（金）　午後１：00～2：30
場　所　はこね社協サービスセンターデイサービス
参加者　利用者２名、本会職員
内　容　デイサービスでの祭り行事への参加・施設間交流

⑤　節分行事

日　時　令和７年２月３日（月）　午後１：00～2：30

場　所　はこね社協サービスセンターデイサービス

参加者　利用者１名、本会職員

内　容　デイサービスでの節分行事への参加・施設間交流

⑥　製品販売

日　時　令和６年 10 月 19 日（土）　午前 10：00～午後３：00

場　所　星槎大学箱根キャンパス

参加者　本会職員

内　容　刺し子雑巾他の販売、地域行事への参加交流機会の確保

⑦　赤い羽根街頭募金

日　時　令和６年 11 月 14 日（木）

午後１：00～２：00

場　所　強羅駅前

参加者　利用者１名、本会職員

内　容　赤い羽根街頭募金参加

⑧　みんなで楽しむ！クリスマスコンサート

日　時　令和６年 12 月 20 日（金）　午後３：00～４：30

場　所　仙石原文化センター

参加者　利用者３名、本会職員

内　容　障害者福祉事業

⑨　委託業務（公園清掃）

日　時　隔週火曜日

場　所　向山公園

参加者　利用者３名、本会職員

⑩　各種レクレーション

日　時　随時

参加者　利用者７名、本会職員

内　容　ドライブ、読み聞かせ、お誕生日会、おやつ作り、

さつまいも栽培、プランター栽培

⑪　ボランティア活動（町内美化清掃）

日　時　隔週火曜日
場　所　箱根町内（主に宮城野地域）
参加者　利用者４名、本会職員

⑫　各種外出行事
日　時　令和６年７月 11 日(木)
午後１：00～３：00
場　所　えびせん工場見学
参加者　利用者３名、本会職員

１２．生活支援コーディネーター事業

(1)　生活支援等サービスの提供状況の把握及び創出
地域住民や関係機関への調整等に努めました。地域の集まり等に参加し情報提供を行い、地域住民から地域の資源や困りごとの情報が寄せられるようになり、地域の生活課題を把握することにつながりました。

(2)　住民ニーズの把握及び生活支援等サービスとのマッチング
地域の住民ニーズ把握については、ご近所で困っている方へ自主的に手助けを行っている方や、通院を無理のない範囲で送迎支援している方の把握を行いました。
今後、さらなる地域の「お互いさま」「支え合い」を見つけられるよう、地域に足を運び地域で活躍されている方と関わることで、住民参加型の支え合いを推進していきます。

個人ボランティア登録：１名
活動内容：地域のサロン及び地域活動支援センターでの読み聞かせ

(3)　公的機関及び民間の活動団体等関係者間のネットワークの構築
大学や企業、福祉施設、各種団体等と連携しネットワークの推進に努めました。
令和６年度は、星槎大学職員から外国籍の方と地域で共存していく方法について相談があり、地域のことを話し合う会で協議し、地域行事に参加ができる仕組み作りを行い、外国籍の方の存在が地域へ認識され生活環境にも変化がでてきました。

(4)　日常生活支援の担い手となるボランティア等の育成及び活動支援に関する業務の実施状況
高齢者等の「孤立死」や親族・地域との係わりが希薄化し、「社会的孤立」状況を防ぐため、住民の「助けあい・支えあい」意識の醸成を図り、地域の実情に沿った住民の見守り体制の構築を進めました。

⑸　支えあい体制づくりに関する住民、各種団体への周知及び意識啓発の実施状況

定期的なサロンの開催のほか、地域によっては、寄り添いお茶のみをするだけでも健康維持やフレイル予防にもつながっているとの声が聞かれます。支援側の高齢化が進んでいることから、次世代の担い手の育成にも力を入れ、よりよい環境をつくっていきます。

⑹　箱根町生活支援・介護予防体制整備推進協議会に関する業務の実施状況

○　高齢者サポート事業、ツアー型買い物支援サービス

箱根町が実施する高齢者の買物支援事業です。事業に同行し参加者の買い物の困りごとの状況の確認や、日ごろの参加者同士の買い物に関するたすけあいを促す支援を行いました。引き続き高齢者の買い物に関するニーズについて協議体で検討し、ニーズに沿った事業展開を目指し実施主体である箱根町と連携していきます。

＜実施団体＞

第１回　日　時　令和６年５月15日（水）　午前９：00～午後３：30
　　場　所　ジアウトレット湘南平塚→花菜ガーデン平塚
　　参加者　畑宿おしゃべり会７名、Salon de きんじょ５名、箱根町職員１名、本会職員２名

第２回　日　時　令和６年５月21日（火）　午前９：00～午後３：30
　　場　所　沼津港→村の駅
　　参加者　宮城野やまゆり会13名、箱根町職員２名、本会職員２名

第３回　日　時　令和６年11月26日（火）　午前９：00～午後３：30
　　場　所　沼津港→村の駅
　　参加者　仙石原きんとき寄木サロン20名、箱根町職員２名、本会職員２名

第４回　日　時　令和７年３月18日（火）　午前９：00～午後２：30
　　場　所　ジアウトレット湘南平塚
　　参加者　箱根長寿会14名、元箱根老盛会10名、箱根町職員２名、本会職員２名

第５回　日　時　令和７年３月21日（金）　午前９：00～午後２：30
　　場　所　村の駅→沼津港
　　参加者　湯本地区老人クラブ８名、箱根町職員２名、本会職員２名

１３．基金運営事業

⑴　社会福祉基金の積立

寄付金及び預金利息の一部を社会福祉基金として積み立て、適正な基金運営を行いました。（新規積立額　社会福祉基金　703,518 円）

⑵　基金現在高（令和７年３月 31 日時点）

○　社会福祉基金　　23,612,418 円（前年度末　22,908,900 円）
○　介護事業積立金　　9,324,913 円（前年度末　　9,324,913 円）
○　ボランティア積立金　　906,951 円（前年度末　　906,951 円）

１４．居宅介護支援事業

⑴　居宅介護支援事業

はこね社協サービスセンター（居宅介護支援事業所）として要介護認定を受けられている方に対し、介護保険法に基づく居宅介護支援事業を主任介護支援専門員１名により行いました。介護支援専門員が不足する町内において、安定したサービス提供が行えるよう、各関係機関と連携し引き続き事業を進めてまいります。

【月別・要介護度別延べ利用者推移】　（単位：人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
介1	23	23	23	23	24	25	28	26	27	29	28	28	307
介2	9	9	9	9	10	10	10	8	9	7	7	7	104
介3	6	6	5	5	4	5	3	4	3	2	2	2	47
介4	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	10
介5	0	2	1	0	0	0	0	1	2	2	1	1	10
合計数	**40**	**42**	**40**	**39**	**39**	**41**	**41**	**39**	**41**	**40**	**38**	**38**	**478**
前年度比	0	0	△4	△2	△1	1	0	△1	4	4	△1	△2	△2

※介護支援専門員１名当たりの受け入れ上限　44 件

※令和６年 11 月看護小規模多機能型居宅介護閉鎖のため、要介護５の方の受入れを行いました。

⑵　介護予防支援事業

令和６年度は介護予防支援事業の実施はありませんでした。

⑶　認定調査等

要介護認定申請を受けて実施される要介護認定調査について、他市区町村からの依頼に基づき、本会介護支援専門員により調査を受託実施しました。

【認定調査受託市区町村】

計 16 件（複数回実施市町村あり）

東京都　：　港区、武蔵野市、世田谷区、大田区

神奈川県：　横浜市神奈川区、湯河原町、大磯町、秦野市、寒川町

千葉県　：　鎌ケ谷市

福岡県　：　久留米市

静岡県　：　函南市

15．訪問介護事業

はこね社協サービスセンター訪問介護事業所として介護保険法に基づく訪問介護及び介護予防訪問介護を管理者 1 名、サービス提供責任者２名のもと非常勤 5 名のホームヘルパーにより行いました。（令和７年３月 31 日現在）

【月別・要介護度別延べ利用者推移】　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1	27	30	27	28	16	14	15	25	22	20	20	18	262
支2	48	50	49	59	55	54	62	57	55	49	44	47	629
事業対象	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介1	79	77	69	92	97	98	117	113	117	110	100	100	1169
介2	41	46	45	45	35	24	34	31	37	33	48	51	470
介3	16	48	46	52	51	49	50	48	50	51	50	52	563
介4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介5	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	1	0	44
合計数	**215**	**256**	**240**	**281**	**258**	**243**	**283**	**278**	**285**	**267**	**263**	**268**	**3137**
前年度比	+77	+29	-7	+57	+11	-13	+48	+35	+57	+62	+59	+57	+472

介護保険法に基づき要介護者及び要支援者に対し、個々の能力に応じて自立した日常生活が営めるよう支援をおこない、利用者の人権を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供を行いました。

令和 6 年度は要支援認定及び要介護 1 のご利用者が多く、支援内容は家事支援（掃除、買い物代行等）が大半を占めています。身体的な介護(排泄介助や入浴介助等)の支援は少なくなっています。

今後もご利用者のニーズの変化に柔軟に対応しながら、引き続き運営を行っていきます。また、利用者のみならず地域の方々と協力し、今後必要なサービスについても検討していきます。

16．障害者居宅介護事業

はこね社協サービスセンター居宅介護事業所として障害者総合支援法に基づく居宅介護をホームヘルパーにより行いました。（令和７年３月 31 日現在）

【月別延べ利用者推移】　（単位：人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
合計数	**3**	**3**	**3**	**3**	**2**	**2**	**2**	**2**	**2**	**2**	**2**	**2**	**28**
前年度比	+1	+1	+1	+1	0	0	0	0	-1	-1	-1	-1	0

17．通所介護事業

介護保険法に基づく地域密着型通所介護、総合事業（通所型サービス）を、定員 10 名に対し、管理者１名・生活相談員３名・介護職員６名・機能訓練指導員１名（箱根リハビリテーション病院より派遣）により行いました。（令和７年３月 31 日現在）

「１人１人が主役になれるデイサービス」をモットーに、通所が楽しくなるよう、ご利用者の得意分野や趣味を生かしたレクリエーションの提供を心がけ運営を行いました。

【月別・要介護度別延べ利用者推移】　（単位：人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計	前年度比
支1	10	12	12	8	5	8	8	6	4	4	3	5	85	△19
支2	30	26	24	28	18	17	25	19	22	24	20	21	274	0
介1	93	87	81	98	88	104	98	97	99	83	67	81	1,076	182
介2	20	21	28	29	27	29	33	31	28	12	26	23	307	△42
介3	12	1	3	3	0	3	4	7	8	9	12	12	74	△215
介4	12	11	11	14	11	4	0	0	0	0	0	0	63	△38
介5	9	6	6	8	8	6	8	8	7	7	1	0	74	△15
合計数	**186**	**164**	**165**	**188**	**157**	**171**	**176**	**168**	**168**	**139**	**129**	**142**	**1,953**	
前年度比	3	△11	△25	4	△37	△8	△1	△19	3	△10	△38	△8	△147	
利用平均	8.5	7.8	8.3	8.2	7.9	8.1	7.7	8.0	8.4	7.0	6.5	6.7	7.8	

令和６年度は、11 月から体調を崩し入院される方、施設入所される方が多く、週に複数回利用されていた方の登録が無くなり、新規登録も少なかったことから利用平均と登録数が減少しました。令和７年４月に入り、新規登録の申し込みが増え始めており、登録利用者の増を図っています。

【行事・会議】

（1）　秋祭り

デイサービスの利用者と作成した甚平で和装して、輪投げ大会や綿あめ、たこ焼きなどのお祭りおやつを楽しみました。元ご利用者のご家族が手芸で作成したポーチを、輪投げの景

品にさせていただきました。

⑵ 避難訓練　（全５回）

円滑な避難行動と、余震の危険性を考え、ご利用者全員に車イスに乗っていただき、職員が玄関まで誘導しました。どのような状況でも対応できるよう、少数の職員で対応する訓練を行いました。

日　時　令和６年 10 月 21 日（月）～10 月 25 日（金）　午後１：30～２：00
場　所　デイサービス居室、箱根町社会福祉協議会玄関ホール
参加者　利用者延べ　41 名、本会職員６名
内　容　地震発生時の安全確保
　　玄関への避難行動

⑶　運営推進会議

デイサービスの運営を地域に根差し、ご利用者やご家族との意見交換等により、サービス向上を図ることを目的に、運営推進会議を開催しました。

【第１回】
日　時　令和６年 10 月 10 日（木）　午後２：00～３：00
場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室
内　容　活動報告、事故報告、意見交換
出席者　10 名（利用者家族、民生委員、箱根町福祉課、ケアマネジャー、本会職員）

【第２回】
日　時　令和７年３月 18 日（火）　午後２：00～３：00
場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室
内　容　活動報告、事故報告、意見交換
出席者　９名（民生委員、町福祉課、ケアマネジャー、地域包括支援センター、本会職員）

⑷　箱根町指定介護保険事業者に対する運営指導

日　時　令和７年２月３日（木）　午後０：40～３：20

場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室

内　容　介護保険法第24条に基づく介護保険に係るサービス提供事業者及び介護保険施設等に対する運営指導

実　施　公益社団法人かながわ福祉サービス振興会（箱根町より委託）

⑸　ZOOM を活用した活動

【箱根リハビリテーション病院との体操】

毎月１回、TV 会議を活用した体操を行いました。病院とデイサービスが交代で体操の音頭を取り、他事業所にも自由に参加していただいています。

【福岡県のデイサービスとの交流】

約月１回（木曜日）、福岡県のデイサービスと TV 会議を活用した交流を実施しました。

⑹　その他レクリエーション等

焼きいも大会、クリスマス会などボランティアの方々にご協力いただき、ご利用者の特技を活かしたレクリエーションを実施しました。

季節を感じられる工作品を制作し、社会教育センターで実施された町民文化祭に出展しました。

１８．地域包括支援センター事業

町からの受託事業として保健師（平成 29 年 12 月からは保健師に準じるものとして看護師）、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員の 4 職種（計 5 名）により、地域包括支援センターを運営しました。

（1）総合相談

①総合相談支援

高齢者の日常生活や保健・医療・福祉に関することなど、総合的な相談窓口として、電話や訪問、来所などによる相談対応を行いました。各地区で行われた心配ごと相談等に参加し情報収集に努めました。

【相談内容・件数】

介護に関すること	329 件
権利擁護に関すること	61 件
ケアマネジメント支援に関すること	10 件
その他	169 件
合　計	569 件

【相談経路】

家族・親戚	31.8%
行政機関	12.3%
ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ	5.8%
医療機関	10.7%
本人	21.6%
民生委員	4.7%
知人	3.0%
サービス事業所	1.6%
その他	8.4%

②センターの周知活動

パンフレットの回覧及び関連機関への設置や、社会福祉協議会広報誌やホームページによる広報活動、その他、センターのＰＲカードを町内関係機関に設置しました。

③社会資源の実態把握・ネットワーク構築

課題を抱えた高齢者が、様々な社会資源をより効率的に活用できるよう、圏域における社会資源調査を実施し、高齢者への支援体制を把握しました。さらに調査の結果は、『みんなの便利帳』としてまとめ、回覧で配布しました。また、社会福祉協議会のホームページに掲載している高齢者等社会資源ネットワーク一覧について、最新の情報に更新しました。

④ふらっと相談会・お年寄りの１日電話よろず相談の実施

高齢者の困りごとや、悩みなどを地域ケア会議につなげ解決を図るため、ふらっと相談会を町内各地区で開催しました。

【ふらっと相談会】

開催日	場　所	相談者数
６月19日	仲町集会所（湯本）	５人
７月29日	大平台集会所	０人
８月 ６日	いこいの家（仙石原）	３人
９月27日	宮城野出張所	１人
10月３日	元箱根集会所	０人
２月14日	温泉出張所	１人
２月19日	仲町集会所（湯本）	１人
３月４日	宮城野出張所	１人
３月７日	箱根集会所	８人
３月18日	仙石原集会所	２人

【お年寄りの１日電話よろず相談】

開催日	相談者数
５月１日	２人
７月 １日	２人
９月 ２日	７人
11月１日	３人
１月 ６日	５人

【民生委員とのケース検討会】

開催日	地　域	内　容	参加者数
５月13日	宮城野	認知症の進行がある方への支援	７名
５月14日	箱　根	介護サービスが合わない方への支援	４名
５月27日	温　泉	8050 問題の世帯への支援	４名
６月５日	湯　本	介護サービスが合わない方への支援	７名
６月11日	仙石原	8050 問題の世帯への支援	９名
７月９日	温　泉	介護サービスが合わない方への支援	５名
８月７日	湯　本	認知症の進行がある方への支援	10名
９月９日	宮城野	民生委員活動の範疇に迷う支援	６名
９月11日	宮城野	家族が同居になった場合の支援	８名
10月８日	温　泉	民生委員と包括が協働しているケースについて検討	３名
11月５日	箱　根	民生委員活動の範疇に迷う支援	４名
12月９日	宮城野	高齢者施設を退所した方への支援	７名
12月10日	仙石原	認知症の進行がある方への支援	７名
１月21日	温　泉	民生委員活動の範疇に迷う支援	５名
２月４日	箱　根	民生委員が対応している方の情報共有	３名
２月５日	湯　本	生活保護受給世帯への支援	９名
２月10日	宮城野	生活保護受給世帯への支援	７名
３月11日	仙石原	民生委員活動の範疇に迷う支援	７名

（2）権利擁護

① 高齢者虐待の防止・早期発見

- 対応件数　　４件

　虐待の相談機関として広報誌などを通して地域住民への周知を行ったほか、日常から関係各機関・各団体と連携を図ることで虐待の早期発見、防止に努めました。虐待の疑いの段階で包括が関係機関と相談しながら介入や訪問などの対応をすることにより、家族や養護者との関係が改善され、状態が悪化することを予防しました。

②成年後見制度利用支援・日常生活自立支援制度

- 成年後見制度　対応件数　12 件　（うち町長申立要請　　２件）

　判断能力の低下により権利侵害に至る恐れのある高齢者に対し、制度の紹介や、町長申立てに伴う要請書の作成、親族や専門職及び関係機関との連絡調整や診断書作成のための受診同行、及び選任された後見人等などへの連携や協力を行い、成年後見制度の利用支援を行いました。

③司法書士・行政書士による高齢者無料相談会

　町内在住の高齢者やその家族を対象に「成年後見」「遺言」「相続」等に関連した困りごとについて、専門家に相談できる機会の提供として、司法書士相談会はリーガルサポートかながわ、行政書士相談会は一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター神奈川県支部小田原西地区による相談会を実施しました。

【司法書士・行政書士による無料相談会】

開催日	場　所	件　数	参加者数
４月 22 日	箱根町総合保健福祉センターさくら館	８件	11 名
５月 20 日	箱根町役場本庁舎	７件	７名
６月 17 日	仙石原文化センター	８件	８名
７月８日	箱根町役場分庁舎	２件	３名
７月 25 日	箱根町役場分庁舎　※司法書士相談会	１件	１名
10 月 10 日	仙石原文化センター	３件	３名
11 月 18 日	箱根町役場本庁舎	５件	９名
12 月 12 日	箱根町総合保健福祉センターさくら館	４件	５名
１月 23 日	箱根町役場分庁舎　※司法書士相談会	３件	４名
３月 25 日	箱根町役場本庁舎	５件	６名

（3）介護予防ケアマネジメント業務

①地域支援事業における介護予防活動の実施

運動機能が落ちてきている介護予防が必要な高齢者に対して、アセスメントを実施し、町主催の介護予防教室へつなげる等、必要な助言を行いました。

②予防給付に関する介護予防ケアマネジメントの実施

介護保険における要支援認定者に対して介護予防ケアマネジメントを実施しました。介護予防サービス（介護保険）の利用や民生委員による見守り、地域のサロン活動への参加など、様々な社会資源の活用や、助言等により介護予防のためのケアマネジメントを行いました。

【令和２～令和６年度 介護予防サービス･総合事業延べ利用者数】 ※

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	**R6 年度**
要支援１	531 人	539 人	562 人	493 人	**417 人**
要支援２	661 人	701 人	673 人	737 人	**692 人**
事業対象者	17 人	11 人	12 人	1 人	**0 人**
合　　計	1,209 人	1,251 人	1,247 人	1,231 人	**1,109 人**
月平均人数	100.75 人	104.25 人	103.92 人	103.36 人	**92.4 人**
前年度日	−5.9%	+3.4%	−0.3%	−1.3%	**−10.0%**

【令和２～令和６年度 要支援認定者数推移】

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	**R6 年度**
要支援１	73 人	100 人	85 人	71 人	**82 人**
要支援２	88 人	92 人	98 人	95 人	**95 人**
合　　計	161 人	192 人	183 人	166 人	**177 人**
前年度比	±0%	+19.3%	−4.7%	−9.3%	**＋6.6%**

③介護予防の普及・啓発

日常的な相談において介護予防に関する助言等を行ったほか、住民独自の運動教室の調査を実施し、令和６年度版「みんなの便利帳」に掲載し住民へ情報提供しました。

介護予防として実施している「シニアスマホ教室」においては、LINE 講座など、暮らしに関する情報収集力の向上を図りました。

④要支援認定者の生活状況の確認

- 予定者：59 名　　実施者：44 名　　対象外：15 名

要支援認定を受けていてサービス利用のない高齢者の生活状況について、訪問や電話等で確認し、状況に応じて支援を行いました。

【介護予防講話の概要】

開催日	場　所	内　　容	参加者数
５月 20 日	箱根中学校	はつらつスポーツ大会 介護予防講話 「熱中症予防、高齢者の食事」	84 人
９月 12 日	湯本富士屋ホテル	敬老会 介護予防講話 「栄養、運動、社会参加」	282 人

【シニアスマホ教室】

開催日	場　所	内　容	参加者数 ※定員 10 名
５月 17 日	仙石原文化センター	入門講座	10 人
５月 31 日	仙石原文化センター	基本講座	10 人
６月 14 日	仙石原文化センター	LINE 講座	９人
６月 19 日	元箱根集会所	入門講座	12 人
９月５日	箱根町総合保健福祉センターさくら館	入門講座	５人
９月 24 日	箱根町総合保健福祉センターさくら館	基本講座	６人
10 月 17 日	箱根町総合保健福祉センターさくら館	LINE 講座	８人
11 月 15 日	社会教育センター	入門講座	８人
11 月 29 日	社会教育センター	基本講座	７人
１月 16 日	郷土資料館学習室	入門講座	６人
２月 13 日	郷土資料館学習室	基本講座	６人

（4）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①ケアマネジャーのネットワーク構築、日常的個別指導・相談

日常的な相談に応じるほか、必要に応じて包括職員も参加するケース検討を提案・実施するなど、ケアマネジャーの資質向上に向けた支援を行いました。

②支援困難事例等への側面支援

支援困難事例を抱えるケアマネジャーに対して、具体的な支援策を検討し助言等の支援を行いました。令和６年度、事例に対しての支援を行うとともに、事例を通じてネットワークの構築、ケアマネジャーの実践力向上に向けたサポートを行いました。

（5）多職種協働による地域包括支援ネットワーク構築

西湘地区 1 市 3 町の医療・介護・福祉の専門職による多職種共同研修に参加しネットワーク構築を図ったほか、包括主催の会議や講座等により自治会長・民生委員・ボランティアとのネットワークの構築・拡充を目指しました。

令和６年度は、ポーラ美術館のスタッフを対象に高齢者や認知症に関する講座をおこない社会的資源、インフォーマルサービスの構築に努めました。

○町内企業を対象とした福祉教育

開催日	場　所	内　　容	参加者数
３月 14 日 ３月 17 日	ポーラ美術館	ポーラ美術館職員を対象とした 高齢者や認知症に関する講座	12 名

（6）地域ケア会議推進事業との連携業務

高齢者が安心して地域で生活できるよう、個々の高齢者の多様なニーズへの対応と、保健、福祉、医療、介護等のサービスや社会資源の調整、推進を目的とする地域ケア会議を５回実施しました。うち１回は「介護予防のための地域ケア個別会議」として実施しました。

【地域ケア会議】

開催日	地　域	場　所	参加者数
５月 23 日	温　泉	温泉出張所	10 人
７月 26 日	仙石原	仙石原文化センター	12 人
10 月 22 日	湯　本	箱根町社会福祉協議会	14 人
12 月 10 日	宮城野	宮城野出張所	10 人
２月 20 日	仙石原 宮城野	箱根町社会福祉協議会 ※介護予防のための地域ケア個別会議	８人

【地域ケア全体会議】

- 日　時：　３月　26 日（水）
- 参加者：　15 名

町内で開催してきた地域ケア会議を通し、把握された地域課題の解決のために必要な地域包括ケアシステムの構築に向け、地域ケア全体会議としての意見交換を行いました。

（7）在宅医療・介護連携推進事業に関する業務

利用者が円滑に入退院できるよう医療相談員と連携しました。また、医療機関からの介護申請依頼に対応したほか、町内で利用できるサービスに関する相談を受け付けました。介護連携

推進では、介護保険事業所での運営推進会議に参加しました。

〇各介護保険事業所運営推進会議への参加

開催日	場　所	内　　容	参加者数
10月10日	箱根町社会福祉協議会	はこね社協サービスセンター通所介護令和６年度運営推進会議	10人
２月28日	ハートフルデイサービス安養	ハートフルデイサービス安養令和６年度運営推進会議	５人

（8）生活支援体制整備事業に関する業務

生活支援体制整備事業推進協議会構成員として協議会に参加したほか、地域のことを話し合う会に出席するなど、生活支援コーディネーターの活動に協力しました。

（9）認知症総合支援事業に関する業務

民生委員や福祉機関、医療機関、行政などと連携し認知症高齢者の支援を行いました。認知症に関する理解の普及啓発のため、認知症サポーター養成講座を町内５か所で実施しました。その他、チームオレンジ、及び認知症カフェの活動支援を継続しました。

・キャロットカフェ（二ノ平 リラック森）　毎月 第３（金）
・オレンジカフェ宮城野（さくら館）　毎月 第２（木）

〇認知症サポーター養成講座

【定期開催】

開催日	場　所	参加者数
５月24日	箱根町社会福祉協議会	２名
６月28日	仙石原文化センター	３名
７月26日	箱根町総合保健福祉センターさくら館	２名
８月23日	箱根町社会福祉協議会	２名
９月27日	仙石原文化センター	３名
10月25日	箱根町総合保健福祉センターさくら館	０名
11月22日	箱根町社会福祉協議会	０名
12月８日	仙石原文化センター	０名
１月24日	箱根町総合保健福祉センターさくら館	１名
２月７日	箱根町社会福祉協議会	０名

【要請開催】

開催日時	場所及び対象	参加者数
２月３日 ２月４日	箱根町役場　箱根町職員対象	29 名
２月 18 日	箱根中学校　３年生及び教員対象	50 名

（10）その他

〇職員研修参加

- 小田原地域看護連絡会
- 精神保健福祉連携会議
- 多職種共同研修
- ファシリテーション研修
- 地域包括支援センター職員等養成研修（管理者編）
- 長寿社会開発センター研究セミナー
- 成年後見制度の活用方法（県医師会在宅医療トレーニングセンター）
- 県社協中堅職員合同交流・研修会
- 成年後見制度利用促進・地域連携ネットワークフォーラム
- 社会福祉協議会マネジメント研修（基礎編・応用編）

神奈川県共同募金会箱根町支会

神奈川県共同募金会箱根町支会として一般（赤い羽根）募金及び年末たすけあい募金を実施しました。その他、各地域で発生した災害に関する災害義援金活動を実施しました。

令和６年度は、新たな取組として、福祉教育の一環として、街頭募金に参加する学生に対し、事前に共同募金の仕組みについて出前講座を実施しました。その他、インターネットを活用した募金等、様々な形で募金ができる仕組みを取り入れ、一般募金に関しては募金額が大きく増加しています。

○　一般共同募金配分金事業

一般（赤い羽根）募金結果

目標額　　1,510,000 円

実績額　　1,577,393 円（対前年度比　＋210,389 円）

【街頭募金活動の実施】

①　箱根町ボランティア連絡協議会による街頭募金

日　時　令和６年 10 月１日（火）
午前 10：30～12：00

場　所　箱根湯本駅構内

参加者　ボランティア連絡協議会・ボランティア団体、ボランティア、箱根町職員、本支会委員、本支会職員

募金額　16,328 円

②　学生による街頭募金

日　時　令和６年 10 月 22 日（火）
午後４：30～午後５：30

場　所　小田原駅アークロード

参加者　函嶺白百合学園中学校・高等学校

募金額　47,183 円

日　時　令和６年 11 月 15 日（金）
午後３：30～午後４：30

場　所　小田原駅アークロード

参加者　函嶺白百合学園小学校

募金額　67,671 円

③　福祉施設等による街頭募金

日　時　令和６年 11 月 14 日（木）
　　午後２：00～午後４：50

場　所　強羅駅構内

参加者　強羅暁の星園・地域活動支援センター
　　レインボー

募金額　14,305 円

※　出前講座「共同募金の仕組みについて」

日　時　令和６年 11 月 11 日（月）
　　午後１：20～午後２：00

場　所　函嶺白百合学園小学校

参加者　白百合学園小学５年・６年生、教員

内　容　街頭募金に参加する児童へ共同募金に
　　ついての福祉教育の実施

【イベント募金活動の実施】

①　星槎大学フェスティバルでのイベント募金

日　時　令和６年 10 月 20 日（日）
　　午前 10：00～午後４：30

場　所　星槎大学箱根キャンパス

募金額　7,374 円

②　仙石原文化センター祭りでのイベント募金

日　時　令和６年 12 月１日（日）
　　午前 10：00～午後４：00

場　所　仙石原文化センター

募金額　7,323 円

○　年末たすけあい配分金事業

年末たすけあい募金結果

目標額　　1,700,000 円

実績額　　1,523,579 円（対前年度比　△164,519 円）

○　第 46 回神奈川県福祉作文コンクール

町内小・中学校から提出された福祉をテーマにした作文について、審査会を開催し代表作品を選出し、うち１作品が入選いたしました。

応募数　２編　（小学校２編、中学校０編）
選出数　２編　「福祉について」　箱根町立仙石原小学校５年生
「私たちにできることは」　函嶺白百合学園小学校６年生
※最優秀賞（神奈川県共同募金会会長賞）受賞

○　共同募金功労者表彰・感謝
本支会より推薦を行った１団体が受賞をされました。
団　体　学校法人函嶺白百合学園　様〈神奈川県知事表彰〉

○ ホームページによる災害義援金の募集
- 令和６年度秋田県大雨災害義援金（秋田県共同募金会）
- 令和６年７月大雨災害義援金（中央〃）
- 令和６年能登豪雨災害義援金（石川県〃）
- 大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金（岩手県〃）